

# 令和3年度 第2回原村観光推進組織検討委員会 議事録

日 時：令和3年9月17日（水）10:30～

場 所：原村役場 3階講堂

出席者

委員長 石川高明

副委員長 中村洋平

委員 牛山貴広 鵜飼和仁 折井裕介 菊池由佳  
佐宗利江 林誠二 松尾靖

事務局 小池恒典 菊池紀幸 川俣大翼

地域おこし協力隊 柏崎奈津子 村澤有美

## 1 開 会

## 2 協議事項

- ・ DMO の概要と詳細説明

観光はあくまで地域づくりの手段、方法のひとつ。

DMO は観光関係に限らず多様な業種から形成される。

原村は既に八ヶ岳観光圏という地域連携 DMO に属している。

茅野市は地域 DMO の候補として活動している。

- ・ 各地の DMO の事例紹介（隼南信州観光公社）

教育旅行関連の組織から周辺自治体に拡大し DMO となっていた。

強みと弱みを徹底的に洗い出し、目標を設定した。

補助金などは使わず、黒字化、配当も出ている。

若者の働く場所を作ることが当初の目標。

行政による観光は、担当者が2,3年で変わってしまいなかなか進まないことが設立動機のひとつ。

- ・ 原村が目指す方向性について

DMO にしても観光組織にしても行政の基本方針に沿って実施していくことが大切であり、DMO を検討する上での知識としても必要なので資料をよく確認しておいて欲しい。

経済の域内循環を行うことで、消費額を増加させることができる。DMO のような組織がその仕組みを主導している場合もある。

一見観光に関係が無いようなところまで経済効果がでてくる。

委員 A 補助金ありきの事業は軸がずれてしまう可能性がある。まずは事業の軸をしっかりと定めるべきでは。

委員長 その通りで、まずはやるべき事業があって、それを発展させるために組織化する。

成功事例を見るのもいいが、失敗している組織の視察にぜひ行きたいと思う。失敗事例の中には補助金により軸がぶれてしまったという話も聞く。

委員 B 地域ごとに地域資源は異なる。原村においても地域資源の洗い出しは必須。足元をしっかりと見直した上で視察を行うべき。

委員長 観光資源含め現状の確認などはしっかりと行っていきたい。

委員 C 原村だけに固執すると連帯が難しいのでは。6市町村など広域に事業展開したほうがスムーズなのは。

委員長 民間からすると行政のような区切りはなく、事業を行う上で近隣市町と一緒にやっていくのは当然の認識。そういう視点は大事にしていきたい。

事業内容にもよるが将来的にはそういったことも考えていかななくてはいけない。

委員 A 村内の域内循環を目指しているように思えるが、近隣自治体との連携をするとすると原村のDMOとしてはどのようにすり合わせていくのか。

事務局 原村だけに固執するわけではないので、周辺含めて域内での循環進めたい。そもそもの話として、原村振興公社や縦の木荘、原村観光連盟などの観光組織、施設は実質的に村が主導している形に近いという問題がある。域内循環の話もあるが、こういった部分の改善もDMOを検討する上で協議していきたい。

委員長 海外の事例にはなるが、観光に携わる専門家がいなければ、DMOが若者を研修に行かせて育成させたり、異なる会社が運営するスキー場を買い上げ、オーナーとして共通パスを発行させるなど、DMO主導で観光方針を変えていくことができる。(考え方として参考に)

副委員長 既存の観光団体で、現時点での課題や事務局が述べた課題を解決できるかが協議すべき事項になる、できないようであれば新しい枠組みを考えていきましょうということになる。

最近のニュースとして、リネン屋が原村から撤退、また値上げするという話がある。他業種でも似たような話があり、観光客の減少は収益性の低さから市場を閉じられてしまう可能性がある。あまりのんびりもしてられない状況である。

委員 D 観光客を増やすことも必要だが、客単価をあげる工夫も必要。  
また委員 C と同じく、近隣自治体との連携は必要だと思う。村外に流出しているお金の多くは茅野や諏訪だと思うので、そこから村へ戻ってくる様な仕組みづくりを考えるべき。

委員長 将来的に他の団体と組むことを前提に進めていくという考え方で、他市町村からすれば原村が独自にしているのではなく、一緒にやっていける組織だと認識してくれる。

委員 D 観光客向けの窓口として DMO は必要だと思う。

委員長 宿泊や観光施設利用のワンストップ窓口は必要。やりたい事業によって必要な資格を取る必要がでてくると思う。

白馬に視察に行った時感じたのは、観光客の多い時期だけ人が流入してきて人が定着しないという村づくりでいいのかということ。稼げればいいというのではなく、観光を軸に何をすべきか目標を定めていきたい。

協力隊 いつまでに何をするかを設定し、一つ一つ検討していくやり方が良いのでは。ひとまず今年度のゴール設定をしたいと考える。そのゴールに対して誰が何をするか役割分担などをしてもいいのではないか。

委員長 観光だけに限らず、それぞれが持っている事業に関したことで今ある課題を次回の議題にしたい。

参考にしたい、話を聞きたい取組をしている組織があれば出してほしい。

委員 A DMO 全国大会資料のような DMO の取組事例、組織構成がわかる資料が欲しい。

委員長 準備するようにします。

### 3 その他

なかなか忙しいところだとは思いますが、月 1 で委員会を行いたいのでご協力をお願いする。

どうしても出席できない際のオンライン参加を検討してほしい。

→対応できるようにする。

### 4 閉 会